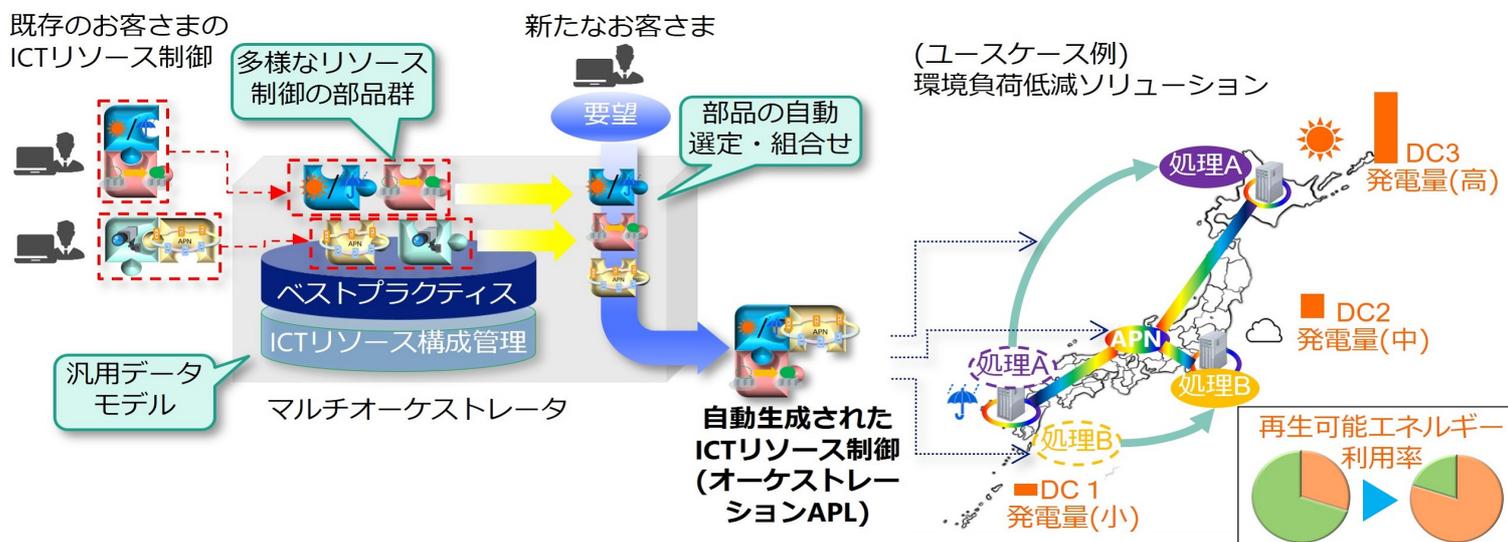


## 背景

近年、さまざまな分野においてICTリソースを活用した社会課題解決が求められています。最適なソリューション構築には時間やコストがかかっています。そこで各分野でのICTリソース制御ノウハウを統合し、迅速な構築を支援する基盤技術が必要となっております。

## 成果の概要

自律的なICTリソースの設計及び運用を実現する自己進化型サービスライフサイクルマネジメントの構想に向けて、将来的に人手での開発無しにCenter-Bの要望に沿ったネットワークやコンピューティングなどの最適制御を可能とするオペレーション技術を具体化しました。



## 技術のポイント

- オーケストレーション機能：さまざまなビジネスにおけるICTリソース構築実績などに基づいて、新たなCenter-Bの要望に適した制御をオーケストレータのアプリケーションとして生成
- マネージメント機能：共通的な管理モデル（NOIM）により、ビジネスやリソースの種類に依存しない統合的なリソース活用が可能
- インテリジェント機能：ネットワークやコンピューティングなどのICTリソースを利用し易くするために、Center-Bの需要に応じて即時提供や効率改善などを実施する高度化機能を提供

## この研究がもたらす未来

ビジネスに必要な技術・インフラが迅速かつスキルレスでつながることで、多様なCenter-BとのB2B2X連携を促進し社会課題の解決やスマートワールドの拡大を実現します。

## 出展企業

日本電信電話株式会社、  
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、  
株式会社NTTデータ、エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社

## 問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com